

進路だより

令和3年7月20日 恵那特別支援学校 進路支援部 No.2

中学部・高等部では、6・7月に校内作業集中期間、校内作業実習、現場実習・インターンシップが行われました。今回は、生徒の様子や高等部1年生から3年生までの実習の流れなどについて紹介します。

【 中学部 校内作業集中期間 】

6月9日(水)から3日間、校内作業集中期間がありました。一人一人が3日間の目標をたてて、大きな紙に書いて貼りだし、目標が意識できるようにして取り組みました。

1日目の午前中には、高等部の校内作業実習を見学し、作業に取り組む姿勢を学んでから作業スタートです。長い時間取り組んでいると、雑になってきたり、作業をする手が止まったりしましたが、7月にあるロックビレッジバザールできれいな製品をお客さんに買ってもらいたいという思いで頑張りました。

3日目の最後には、班ごとに反省会を行い、多くの生徒が「頑張れました」と清々しい表情で発表することができました。



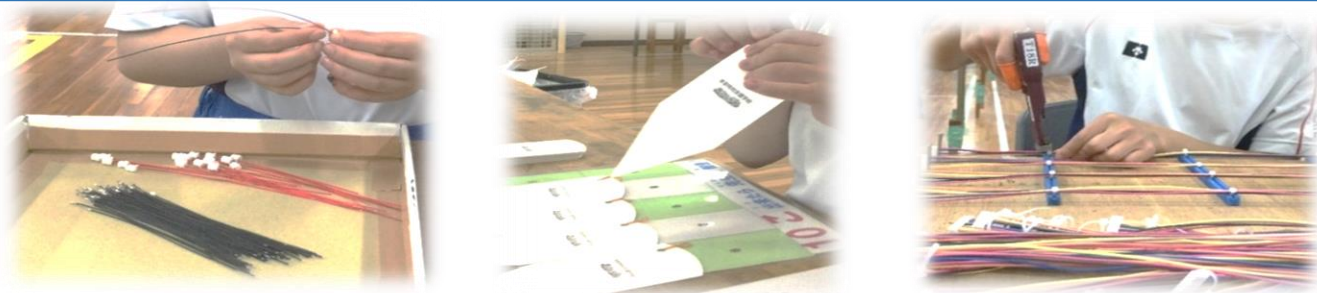
【 高等部 校内作業実習 】

高等部1・2年生は6月7日(月)からの2週間、校内作業実習を行いました。

作業内容は、近隣の会社から作業提供いただいた「配線の差し込み」と「アシストグリップ(自動車部品)の組立て」、「園芸用ラベルのシール貼り」の3種類です。作業室内に日課表を掲示して時間を意識しながら、一人一人の目標や課題に合わせて一日中作業に取り組みました。

「配線の差し込み作業」では、端子が折れないように気を付けながら、細かい作業を集中して行い、「園芸ラベルのシール貼り」では、ラベルの枠からはみ出さないように丁寧に貼ることができました。

また、決められた個数ができたときには、忘れずに大きな声で報告をする姿が見られました。普段とは違う緊張感のある雰囲気の中で、仕事をやり遂げる成就感を味わいながら、集中力や体力、働くために必要なマナーや態度が身に付いてきたと思います。連携した会社から生徒たちの行った仕事の正確さに高い評価をいただくことができました。



ホームページ上で進路だより、進路状況を掲載しています。ぜひご覧ください。

URL <http://school.gifu-net.ed.jp/ena-sns/>

学校HP QRコード →
スマホの読み取りカメラから
アクセスできます。



【 高等部 現場実習 】

高等部3年生は、6月28日（月）から2週間、2年生は上記の校内作業実習を終え、7月5日（月）からの1週間、現場実習を行いました。企業や福祉事業所に行って仕事をする中で、働くことの大変さややりがいなどさまざまなことを感じることができたと思います。

3年生は昨年の実習の反省を生かしながら、2週間頑張ることができ、卒業後の雇用や利用を見据える機会になりました。

2年生は初めての現場実習で、実際に働くことが中心になる生活の大変さを感じる一方で、達成感に満ちた言葉を聞くことができ、自信に満ちた表情がみられました。

今回の実習を振り返り、今後の生活、作業学習等で生かしてほしいです。



【 高等部 1年生～3年生までの流れ 】

校内作業実習 高等部 1、2年生

【期間】高等部1年生 前期2週間 後期2週間

【目的】生徒の実態把握
それぞれのスキルを深める
『働くこと』が中心になる生活
◎初めて就労目線での評価が出る

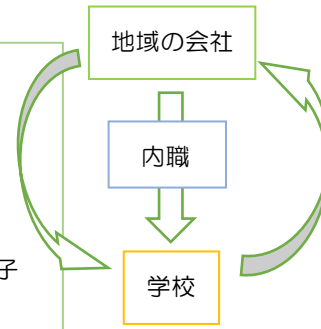
【期間】高等部2年生 前期1週間

【目的】後半の現場実習に向けて準備を行う。

後半 現場実習へ

◎地域の会社から内職をいただいて、校内作業実習を行う。

○仕事の一部を委託する
○特別支援学校の生徒の就労に向けた取組の様子が分かる



◎会社の仕事の一端を担う
◎普段とは違う作業ができる

現場実習 高等部 2年生

【期間】高等部2年生 前期1週間 後期2週間

【目的】就職や利用を考えている会社や事業所で実習を行う。
(土日を含んだ後の月曜日に実習先に行くことができるか。2週間で休まず乗り越える。)
◎社会人としての生活リズムを作っていく上で余暇の過ごし方も重要

現場実習 高等部 3年生 進路の選択

【期間】高等部3年生 前期2週間 後期2週間

【目的】実習が終わった時点で、自分はどの職場でどのように働きたいかなど、進路について意思を固める。
◎進路の意思を決定していく。

【後期】就職試験のつもりで実習を行う。



11月頃に大筋の進路が決まり始める